

## 交換留学(派遣) 近況報告書

留学先での生活はいかがですか。本報告書は以下の目的のために使用されます。

- ① 皆さんの近況等を把握するための資料です。何か困ったこと等があれば、本報告書に限らず速やかに教務係までご連絡ください。  
② 留学を考えている後輩達のための有益な資料となります。留学経験を共有するために、ぜひご協力ください。

本報告書は写真データと共に提出してください。(提出締切日12/6)



あなたの情報(本報告書を閲覧する際には、あなたの氏名、学籍番号、メールアドレスは公開されません)	
留学先大学:	University of Washington
留学先での所属学部・研究科:	Michael G Foster School of Business
留学先での在籍身分:	An exchange student
留学期間:	2022年9月から2023年6月
神戸大学での所属学部/研究科:	経営学部
学年(出発時):	3年
本報告書記入日:	2022年11月27日

1. 出発前について		
1-1	交換留学以前に海外留学の経験はありますか。 「はい」の場合、留学先及び留学期間を記入ください。	いいえ
1-2	この留学プログラムを最初にどのように知りましたか。 その他を選択した場合、記入してください。	神戸大学のホームページ
1-3	このプログラムに参加した動機を教えてください。 最もよく当てはまるものから順に4つまで選んで順位をつけてください。(1:最も強い動機)	
	学術的な目的(研究を深めるなど)	1
	語学力の向上	4
	プログラムの時期がちょうど良い	
	プログラムの長さがちょうど良い	
	かかる費用がちょうど良い	
	地理的な条件が良い	
	将来のキャリアのため(就職に役立つなど)	2
	家族のバックグラウンドと関係がある	
異文化を体験したい	3	
その他(具体的に記入)		
1-4	出発前にどのように情報を集めましたか。参考になる本やホームページがあれば記入してください。	
1-5	VISAについて	
	VISAの種類:	J1ビザ
	申請先:	米国大使館
	必要日数:	1ヶ月
	VISA取得にかかった費用:	22,000円の発行手数料
VISA申請のために求められた書類:	パスポート、写真(大使館でも撮れる)、SEVISの支払い証明、財政証明(奨学金の詳細等)	
	その他、VISA申請の際のトラブルや、注意すべき点があれば記入してください。	面接は非常に簡単だった。DS2019の内容に矛盾のない回答ができれば良い。あと財政証明はあまりまじまじと確認されたりすることはなかった。ネットでは重視されると書いていたので驚いた。
1-6	出発前に必要とされた予防接種の種類・回数・費用	はしかのワクチン×2、おたふく風のワクチン×2、髄膜炎のワクチン×1が必須だった。
1-7	どのような種類の保険に加入したかを教えてください。 また、現地で加入した保険があれば記入ください。	現地では加入しておらず、神戸大学におすすめされたOSSMAのみ加入。
1-8	その他に必要な手続き、方法、料金等	寮費の事前支払いを独自の国際送金システムを用いて行った。また、DS2019というJ1ビザ取得のための学校側のスポンサー証明の書類があるのだが、これは原本を持っている必要があり大学側から国際郵便で受け取る手続きを別途行う必要があった(大学から詳細な指示あり)。

2. 留学先到着後の手続きについて		
2-1	到着時について	DS2019とパスポートのみで入国可能
	利用旅行会社(航空券の手配をした会社):	Kiwi
	到着空港名:	Sea-Tac International Airport
	空港到着時間:	夜7時ごろ
	到着地からの移動手段:	公共交通機関(バス・鉄道)
	移動の所要時間・料金:	3.5 USDくらい
	到着地からの移動で注意する点があれば記入ください。	Link Light Railという電車一本でキャンパス最寄りのU District駅まで1時間程度で簡単にいける。たまに怖い人が乗っていたりするので少し注意。怖ければタクシーを使ったほうがいいと思うが、他の米国の都市部の地下鉄等よりは安全な気がしている。女性はできる限り明るい時間帯に到着しておくことをお勧めする。
2-2	住居について	寮
	住居のタイプ:	大学寮
	その他を選択した場合、記入してください。	
	住居(寮、アパート)の名前:	Willow Hall
	部屋の種類:	その他
	その他を選択した場合、記入してください。	三人部屋
	ルームメイト:	現地学生
	その他を選択した場合、記入してください。	
	住居の探し方:	大学の斡旋
	その他を選択した場合、記入してください。	
大学までの通学時間・手段:	徒歩。というか大学のキャンパスの中に寮があるため2-3分で着く。	
	住居の周りの環境はどうか。	かなり綺麗でホテルレベルの設備の良さ。コインランドリーや乾燥機はもちろん、たくさんの自習室やラウンジ、すごくきれいなキッチンのある共有スペースがあったりと過ごしやすい。
	毎日の食事はどうしていますか。	基本自炊+大学のレストランの二食で過ごしている。Dining Accountという制度があり、寮に住む人は強制加入なので一番低いLevel 1に加入した。それだけでは足りないので、Food Pantryという食料を支給してくれるサービスを毎週利用しており、自炊に使っている。
	住居は渡航前に、または渡航後すぐに見つかりましたか。トラブルはありませんでしたか。	渡航前に支払いの手続きやルームメイトのマッチング等が大学側のサポートによりスムーズに完了するため、何の問題もなかった。交換留学生はどうやら優先的に寮を選べるようなので、WillowやOak, Madronaあたりを積極的に選ぶべき。少し高いが安全で非常に過ごしやすいのでおすすめ。
2-3	留学生向けオリエンテーションについて	全学部対象の交換留学生オリエンテーション+Fosterの交換留学生のオリエンテーション
	留学生向けオリエンテーションの有無について:	有り
	参加義務について	必須
	参加費用:	無料
	有料の場合、金額:	
	オリエンテーションの内容を記入してください。	J1ビザでバイトができるのか?等のFAQや少しゲームして遊ぶなどをした。Fosterのオリエンテーション後は学部の費用で夜ご飯を奢ってもらえた。
2-4	その他、渡航してから必要な手続きについて	
	現地で滞在許可申請は必要ですか。必要な場合、申請方法、料金、取得に係る日数等を記入してください。	ネットで米国に入国しましたという事実を伝える証明書を送るだけでOKだった。
	その他、現地到着後にした手続き(健康診断、予防接種等)があれば、方法、料金等を記入してください。	Travel SignatureというものがDS2019にないと米国を出て旅行した際に帰って来なくなるため、9月末、10月上旬、11月中旬の指定された日にちのどこかのタイミングでこれをオフィスにもらいに行く必要がある。最初は旅行しないだろうと思っていてもなんだかんだ必要になるのでもらっておくべき。大学のキャンパス内のオフィスでもらえる。

3. 語学力向上のためのコースについて		
3-1	語学力向上のために、大学等のコースに参加しましたか。参加した場合、大学(語学学校)名、コース名、料金、期間等を記入してください。	いいえ

4. 大学の授業について		
4-1	履修登録について	
	履修登録の時期:	出発前
	履修登録の方法:	International Office等の仲介
	その他を選択した場合、記入してください。	
	登録時に留学生として優先・配慮はありましたか。	無し
	優先・配慮があった場合、具体的に教えてください。	
	希望通りの授業が履修できましたか。	はい
	希望通りの授業が履修できなかった場合、その理由を教えてください。	希望通り取れたが、Fosterの授業は基本すごく人気なのですぐに枠が埋まってしまう。UWの履修登録は抽選ではなく早い者勝ちなので交換留学生のアドバイザー経由で履修登録する我々は遅れをとってしまうのが基本。直前になって取り消しをする人が多いので最後まで粘る必要あり。
4-2	現在までに履修している授業について記入してください。	<a href="#">クリックで別シートへ</a>
4-3	一週間のスケジュール(授業時間、課外活動等、毎日の生活)を記入してください。	<a href="#">クリックで別シートへ</a>

## 5. 現在までの感想を自由に記入してください。(800字～)

## (授業について)

総合的に見ればUWは非常に良い留学先である。特に起業に興味がある人や先進的な技術を扱うビジネスに興味がある人には非常にお勧めである。Creating a Companyという授業では学生がグループを組んで実際に起業を行う。授業内では実際に起業をしたことのある人がゲストスピーカーとして招かれ、その人の経験から具体的にどのように起業を進めていけば良いのか、良いツールや方法は何かということをお話してくれる。シアトルはアメリカの中でもTop 3に入るくらいスタートアップが活発に生まれる土地であり、さまざまな人たちがチャンスを探してやってくるようである。大学の中でもそうしたスタートアップに興味がある人がたくさんいて、その授業にはビジネスの学生だけでなく、エンジニアリングなどの技術系の学部からきている人もたくさんいる。その中で私が非常に強く感じたのは「で、君は何が得意なの?」という問いに即座に答えることができるだけの専門的スキルを育成する必要があるということである。この授業でも、グループを編成する際は決してくじ引きなどではなく自分は何ができるのか、自分は何を経験してきたのかということをお話してみんなの前で自分をピッチし、みんな好き勝手にグループを組んでいく感じである。つまり自分なりに得意な分野や能力を示すだけの経験が備わっていないと、うまくグループに入ることができないということである。当然優秀な生徒を自分のグループに入れたいとなるので、そうした専門性がある人はすぐに売り切れていたりと厳しい現実を見たような気分になる。幸い私はファイナンスをかなり重点的に勉強してきたのでCFOポジションということでもう少し声をかけてもらったが、何もないと少し精神的に辛くなってしまうかもしれない。また他のファイナンスの授業についてはかなり実務的な内容で毎回のレクチャーが刺激的である。Asset Managementでは大量のリーディングが宿題として出され、その中で何がTakeawayだった?と授業中にランダムに人が当てられて話せなければならないので準備をする必要がある。毎週月曜日は前の一週間のマーケットの変化とメジャーな経済指標の結果、そしてニュースを前でお話しなければならない。毎週水曜日はJ.P. MorganのGuide to the marketというレポートの指定されたチャートの解釈を前でお話するというものもある。全てのリーディングが授業中に伝えたいメッセージにうまく紐づけられており、読んできた内容が伏線となってそれが授業中に回収されるというまい構成になっている。先生がラッセルインベストメントで15年以上働かれていた方なので、理論と実務がいかに違うかという視点のお話を聞くことができ、非常に面白い経験になっている。このようにUWでは授業のクオリティがかなり高く、学生の士気も非常に高いためやる気をもって学びたいという人にはお勧めである。

## (英語について)

過去の先輩の体験談を読んでいると、たくさんの種類の英語のアクセントを聞き取るのが難しいという話が出てきていたが、私の周りの人はそこまでアクセントが強くないため問題に感じていない。特に私のとっている授業は現地生が大半を占めるものがほとんどなので、友達にはノーマルなアメリカ英語の人が多くむしろ聞きやすいと感じているほどである。アメリカの外にルーツがある人でも、綺麗なアメリカ英語を話すパターンが多いため、そのアクセントは強くないことが多い。

## (生活について)

寮が高すぎるだけあって非常に快適である。他の古い寮を選んでもどっちみち10万円/月は超えてしまうので、どうせならWillow等のハイグレードな寮を選んでおくべきである。急激に進んだ円安の影響をもちにうけて、生活費は月20万円を優に超えてしまっている。内訳としては寮の家賃(水道代等込み)14万円+Dining Account Level 1が5.5万円といった感じで雑費は一切抜きで20万円である。UWに来る場合は貸与奨学金や給付奨学金をフルで利用できる環境にないとなかなか経済的には厳しいということを念頭に置いておく必要がある。